

2016年度関東支部研究支援プログラム中間報告

2016.9~2018.8

音声つき紙版教科書のウェブ化と、 CALL とスマートフォンでの利用

田淵 龍二 （ミント音声教育研究所）

tabuchiryuji@nifty.ne.jp

池山 和子 （首都大学東京）

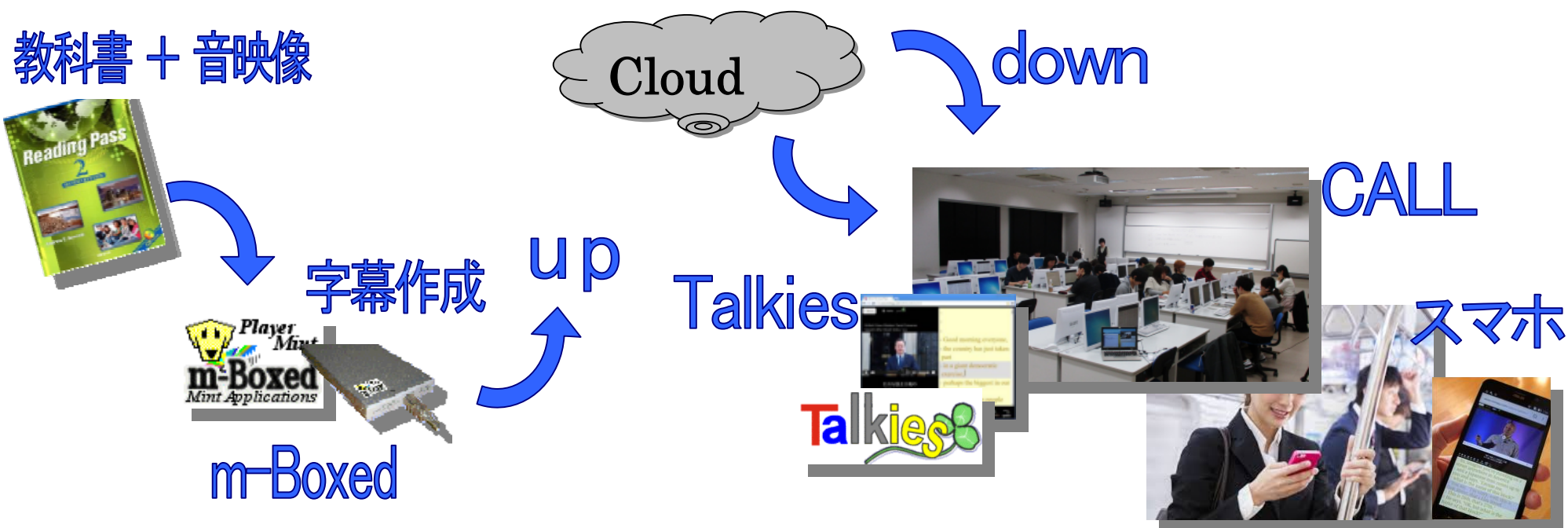
2016年12月10日（土）@筑波大学 / LET 関東支部大会



2016 年度関東支部研究支援プログラム中間報告

2016. 9 ~ 2018. 8

音声つき紙版教科書のウェブ化と、 CALL とスマートフォンでの利用



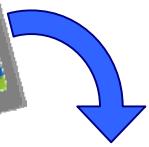
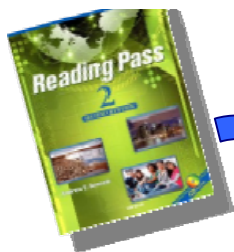
2016年度関東支部研究支援プログラム中間報告

2016.9~2018.8

音声つき紙版教科書のウェブ化と、

CAI - **今までと何が違う?** 利用

教科書 + 音映'



m-Boxed

字幕作成

up



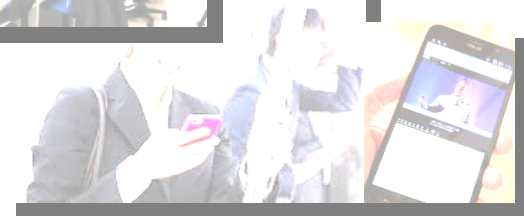
Talkies

Talkies



CALL

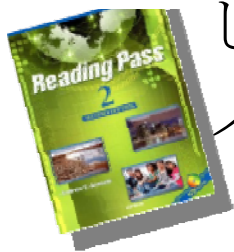
スマホ



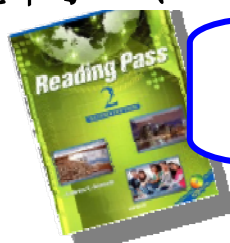
先行研究：（神田明延、2004、LET 全国大会発表要項）

表題： 一斉指導と個別学習に活用できる教材ソフトの諸要件

解決する課題： これまで、CALL などで使用されて来た学習用アプリケーションソフトウェアは、自習用のものが多く、大抵は授業中の一斉指導には使えないものが多い。・・・他方その教材としてのコンテンツは、教員によるカスタマイズの余地のないものであることが多い。



解決方法： 一斉指導と個別学習で使う教材（コンテンツ）とソフト（プラットフォーム）を同一にする。



Talkies

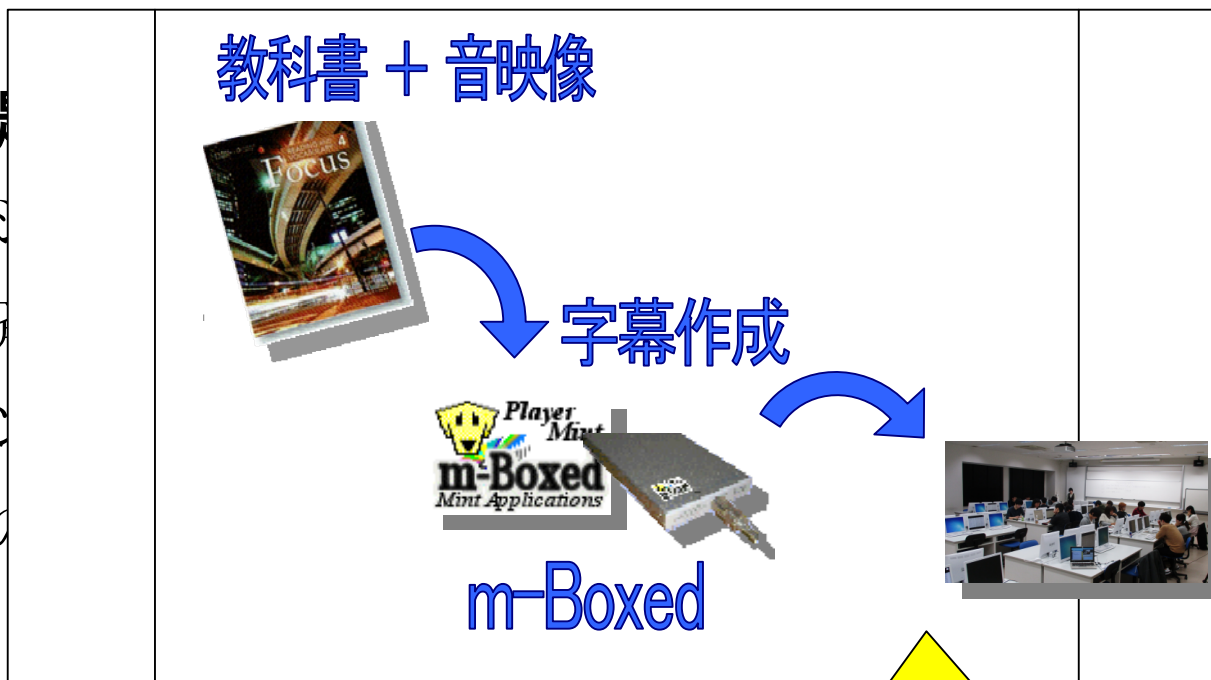


先行研究： (神田明延、2004、LET 全国大会発表要項)

表題： 一斉指導と個別学習に活用できる教材ソフトの諸要件

解決する課題

アプリケーション
業中の一
してのコ
ズの余地



た学習用ア
、大抵は授
その教材と



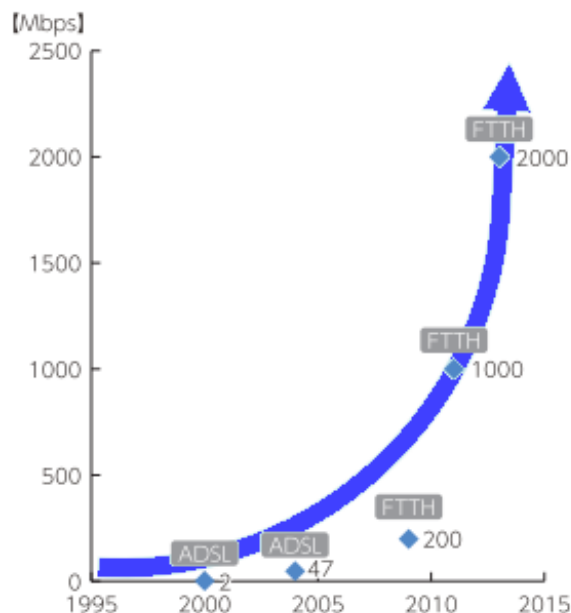
解決方法： 一斉指導と個別学習で使う教材(コンテンツ)とソフト
ト(プラットフォーム)を同一にする

Windows の壁
インストールの壁
CALL 教室の壁

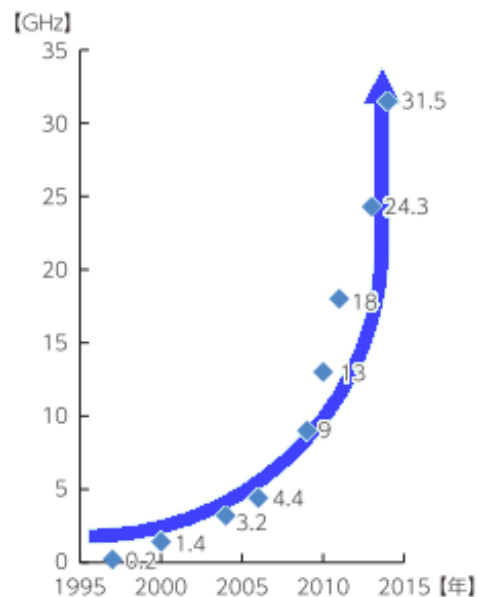


社会基盤環境の充実（1995～2015）

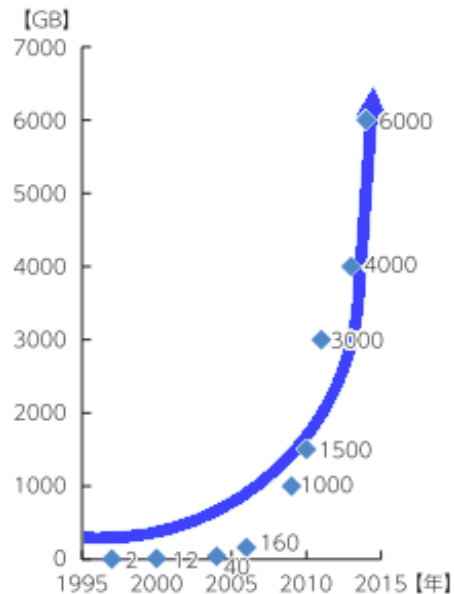
データ伝送速度



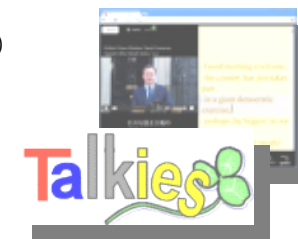
CPU 処理速度



HDD 記録密度

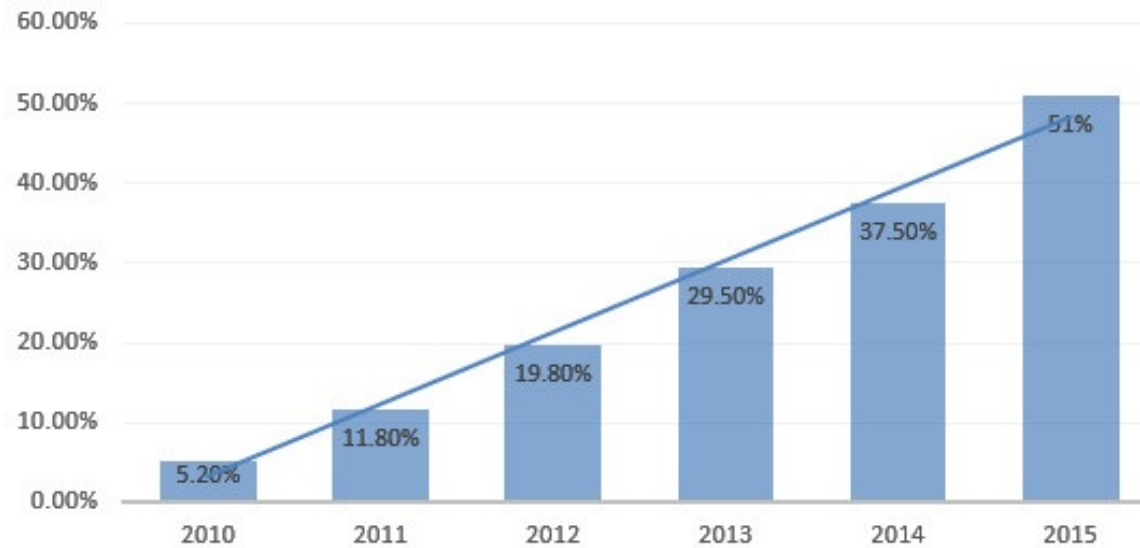


(出典) 総務省「通信自由化以降の通信政策の評価と ICT 社会の未来像等に関する調査研究」(平成 27 年)

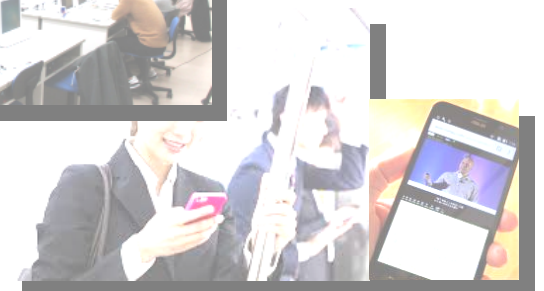


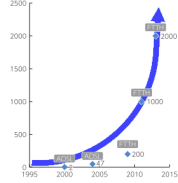
課外活動環境の充実 (2010~2015)

国内スマートフォン普及率

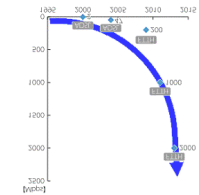


©knowledge168/2016

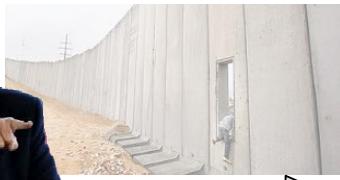




充実する社会基盤 vs 教材作成環境の遅れ
ハードウェア ソフトシステム

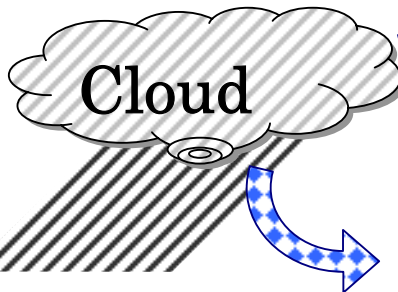


音声つき紙版教科書のウェブ化と、 CALL とスマートフォンでの利用

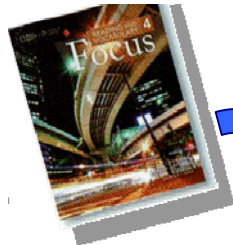


教科書 + 音映像

著作権の壁



down



字幕作成

時間と労力の壁



up

Talkies



CALL

m-Boxed



スマホ



時間と労力の壁、著作権の壁を低くし 教育と文化の発展のための出版社への提案

提案： 教科書の付属音映像に字幕をつけてクラス授業でウェブ利用する場合、出版社は字幕用の日英デジタルテキストを提供するとともに、教師は個別の許諾手続きを必要としない。

条件： クラス全員購入。アカウントによる管理。

交渉の現状： 2社の了解。1社の限定協力。+ α

研究授業への共同研究者の追加募集：

対象は来年の4月開始授業



ウェブ研究授業への出版社の協力依頼への対応状況

2016年12月8日（木）10時現在

	出版社	状況
1	—*	協力する
2	南雲堂	協力する（ウェブ化推薦教材あり）
3	金星堂	教材、学校名、先生名、採用部数などが明確になれば対応できる。
4	—	英文提供は個別の権利確認が必要。和訳はない。
5	—	検討する（著作権協会に一任）
6	—	ウェブ利用は個別の権利確認が必要。
7	—	未回答
8	—	未回答

*— 出版社の要望により、社名は匿名とした。

秋学期(2016.10~)、ある日の授業報告

学校：首都大学東京(池山 和子)

クラス：CALL教室(1年生、21名の男女、リーディング)

日時：2016.11.15、朝1限、90分(8:50~10:20)、6回目

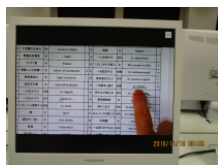


8:20 ウェブアンケートの準備 (PW と質問事項を板書)



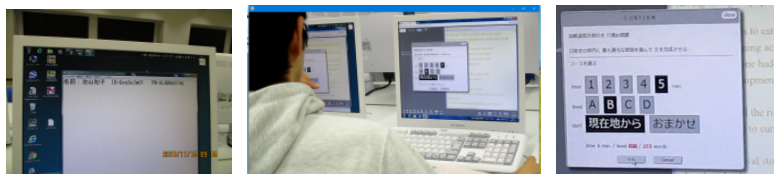
8:50 始業

提出課題について解説 (書画カメラ>センターモニター)

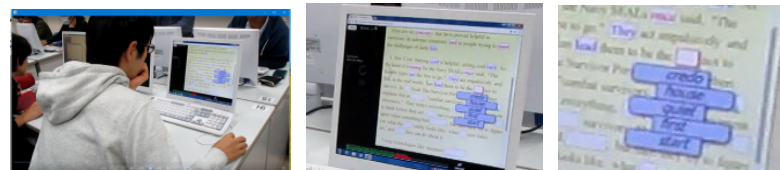


9:00 Cloze Test

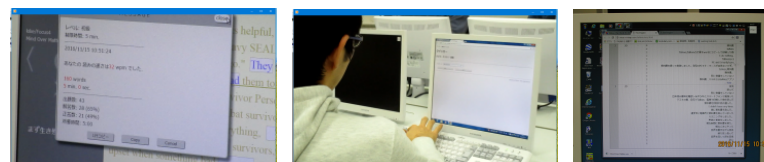
モニターでアクセスキー、テストの設定 (5B-1) を伝える



9:05 Cloze Test 開始



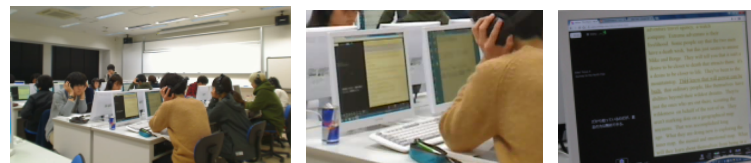
Cloze Test 終了、結果表示、結果送信、
教員 PC ではリアルタイムで Cloze Test 集計



センターモニターで集計を見せながらの指導

9:20 教科書 (紙) による単元 (約千単語)
音読と解説 (一斉)

10:10 トークイズによる単元 (約 10 分) 視聴 (個別)



10:20 終業

2016. 11. 15、朝 1 限の授業をベースに、類型化したものです。

アンケート集計サービス

クイッカー

回答状況

Golden Worms

deadline: 2016/12/06 11:50

pathword: TMU1612062-527

3 ques.

Q1最適の再生速度は？ その理由は？

設問	回答数	正答数	個数	正答	回答
1	21	-	2		4
			1		5が最適であった。日本語と英文を両方見ながら学習しているので、5でないと目が追いつかない
			1		2:3以上ははやくて聞きとれない
			1		130 丁度いいから。
			1		3 訳を見るのに丁度いい
			1		2 あまり速いと内容の理解が追い付かない
			1		訳と合わせる時は1、穴埋めの時は2。
			1		4 なし
			1		3 音声、訳、英文全てを見ることができる速さだと自分は感じた。
			1		3。意味も取りながら読めるちょうど良いスピードだったから。
			1		4 聞いていて丁度良かったから。



Q どこで どんなテスト準備をしましたか？				.. hide ..
2	21	-	10	教科書
			2	talkies
			1	I do nothing.
			1	Talkies, Talkiesの文章をwordにコピーして印刷した物
			1	Talkies(pc)
			1	PC and Smartphone
			1	教科書を使って勉強しました。自宅のPCでトークースが出
			1	来ないです。
			1	talkies,教科書
			1	教科書。
			1	特に準備をしていない
			1	教科書、スマホでのtalkiesアプリ
				.. hide ..
3	21	-	2	音読
			2	読んだ
			1	通学中に電車内で教科書を読んでいました
			1	日本語の意味を確認しながらPCとスマートフォンで勉強し
			1	た
			1	テストの朝、自宅でTalkies、電車で印刷した物を読んだ
			1	教科書を何回か読み通した。
			1	I didn't have any time.
			1	朝に教科書を読んだ。
			1	黙読と音読をしました。
1	スマートフォンで勉強した。			

秋学期(2016.10~11)の中間報告のまとめ

1. 字幕作成、ウェブ化、クラウドへのアップ作業、生徒へのライブラリ・アカウント配布、授業中の操作は順調に開始した。
2. 教科書のウェブ化で、授業に余裕ができた。ClozeTest を授業の冒頭に実施すると、全体の授業がやりやすくなった。
3. 一部生徒が通学時にスマホ学習し始めた。

今後の課題

4. トークーズのチャンク提示機能を活かしたりスニングやスピーキングを、読解授業に取り込む工夫。
5. 新年度から、また別の教科書での字幕作りが始まる。



2016 年度関東支部研究支援プログラム

音声つき紙版教科書のウェブ化と、

CALL とスマートフォンでの利用（代表 田淵） 今後の予定

A	中間報告	2016 年 12 月 10 日（土）	共同研究者募集開始
B		2017 年 1~2 月	出版社とウェブ化授業のガイドラ イン作成
C	研究発表	2017 年 予定 3 月 5 日（日） 早稲田大学	言語エキスポ 2017
D	授業開始	2017 年 4 月	

ご清聴ありがとうございました。